

教育に関する情報・資料を提供することである。ホームページの主な掲載内容を表1に示す。広報委員会は定期的にホームページの充実を図っている。第16期広報委員会の大きな事業として、国際関係委員会との連携による英語版ホームページの開設と情報基盤開発委員会との連携による「医学教育に関するリソース」のホームページ内設置があり、広報委員会が総力を挙げて取り組んでいる。

表 ホームページの主な掲載内容

- 
- ・ TOPICS・バナー
  - ・ 学会概要・会則・入会案内
  - ・ 委員会活動
  - ・ 「医学教育」の論文抄録等・投稿規程
  - ・ 図書・文献・資料・私の学んだ本
  - ・ 教育実践の TIPS
  - ・ 機関会員・賛助会員
  - ・ リンク集
  - ・ 問い合わせ・ご意見
- 

### 3. 国際関係委員会

吉岡 俊正（委員長・東京女子医科大学医学教育学）

国際関係委員会は、1) 医学教育に関する国際的情報の収集、2) 国際的医学教育活動、3) 韓国医学教育学会との学会間協定に基づく交流、そして4) 日本医学教育学会大会インターナショナルセッションの運営を行っている。2009年に今期の委員会が発足し、現在8名の委員で構成されている。

1) については国外の医学教育にかかわる学会などの情報を集積し、委員会ホームページ上に随時掲載している。

2) は各委員が個人あるいは所属機関で行っている国際交流の情報交換・協力と学会が行う国際交流に分けられる。医学教育国際的活動の多くは NGO あるいは教育機関主導で行われ、そこに学会が協力する形で実施されてきた。学会主導の活動として、西太平洋地区医学教育連盟 (Association for Medical Education in the Western Pacific Region, AMEWPR) に参画している。世界医学教育連盟 (World Federation for Medical Education, WFME) の地域部会である AMEWPR は、

医学教育機関の国際評価基準 (Global standard) 作成などの教育国際化を進めている。地域で医科大学を持つ各国代表者が政策的意見交換を行う AMEWPR に日本医学教育学会から代表者を派遣することを通じて学会の国際貢献となっている。

国際化の中で3) の人的交流も重要である。過去4回の大会での交流講演を通じて距離的にも文化的にも関連の深い両国の情報交換は双方に益すると考える。

前期の委員会から継承した4) のインターナショナルセッションは、海外からの医学教育研究の発表、国内の研究者の国際的環境での研究発表の場として定着した。医学教育は国内・教育機関別の問題として考えられることが多い。科学知識・技術だけでなく、医療もメディカルツーリズムや医師の国際間移動が話題になるようにボーダレス化している国際的環境で、医学教育について日本のボーダーとボーダーの外を考えることが委員会の命題である。